

**製品名: インボルクリンウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab12691**

研究使用のみ

**概要**

|        |  |
|--------|--|
| 説明     | ウサギポリクローナル抗体                                       |
| 宿主     | うさぎ  |
| 応用     | WB,IHC,ICC/IF,ELISA                                |
| 反応性    | ヒト、ラット、マウス   |
| 標識     | 非共役  |
| 修飾     | 未修正  |
| アイソタイプ | IgG  |
| クローン性  | ポリクローナル  |
| 形態     | 液体   |
| 濃度     | 1mg/ml   |
| 保存     | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。   |
| 輸送     | 氷袋   |
| バッファー  | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製     | アフィニティー精製  |

**応用**

|      |   |
|------|---|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000 |
| 分子量  | 68kDa   |

**抗原情報**

|              |   |
|--------------|---|
| 遺伝子名         | IVL   |
| 別名           | IVL; Involucrin                                 |
| 遺伝子 ID       | 3713.0  |
| SwissProt ID | P07476  |
| 免疫原          | 抗血清はヒトインボルクリン由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 536-585 |

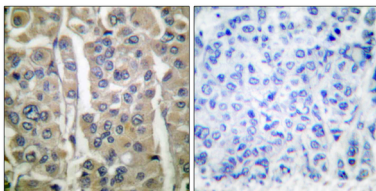
**背景**

インボルクリン (IVL) ホモサピエンス ケラチノサイト架橋エンベロップの構成要素であるインボルクリンは細胞質に存在し、トランスグルタミナーゼによって膜タンパク質に架橋される。この遺伝子は、カルパクチン I 軽鎖、トリコヒアリン、プロフィラグリン、ロリ

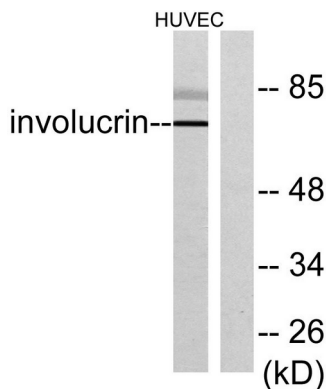
クリン、カルサイクリンとともに、1q21にマッピングされている。[RefSeq 提供、2008年7月]機能:重層扁平上皮の不溶性角化細胞エンベロープ(CE)の一部。PTM:トランスグルタミナーゼの基質。一部のグルタミンとリジンは、他のインボルクリン分子、ケラチン、デスモプラキン、ペリプラキン、エンボプラキンなどの他のタンパク質、およびオメガ-ヒドロキシセラミドなどの脂質に架橋されています。類似性:インボルクリンファミリーに属します。細胞内位置:角質エンベロープの足場を構成する要素です。サブユニット:コルニフェリン (CNFN) に直接または間接的に架橋されています。組織特異性:表皮およびその他の重層扁平上皮のケラチノサイト。

## 研究分野

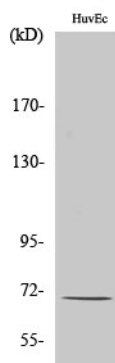
## 画像データ



インボルクリン抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



インボルクリン抗体を用いた HUVEC 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



インボルクリンポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析